

東京 2020 オリンピック・パラリンピック総括

R3. 5 月

●東京 2020 オリンピック聖火リレー点火セレモニー開催

本市の公道を走るオリンピック聖火リレーに代わり、関係者のみが参加する無観客の点火セレモニーが 5 月 12 日、北九州市で行われました。雨天の中、聖火リレーのコンセプト「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」のもと、参加した宗像市の聖火ランナーたちはそれぞれの思いを込めてトーチに灯した聖火をつなぎました。



宗像市を走る予定であった選手たち

R3. 7 月

●東京 2020 オリンピック事前キャンプ受入れ

東京 2020 オリンピック競技大会に向けて、ロシア(ROC)7 人制女子ラグビー選手団、ブルガリア柔道選手団の事前キャンプを受入れ、選手団を 7 月 21 日・23 日に選手村へ無事に送り出しました。(練習・食事・宿泊場所を限定して合宿を行い、施設内も専用車両で移動するなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施)

【日程】

ロシア(ROC)7 人制女子ラグビー:令和 3 年 7 月 10 日から令和 3 年 7 月 23 日まで

ブルガリア柔道:令和 3 年 7 月 11 日から令和 3 年 7 月 23 日まで

【場所】

グローバルアリーナ(宗像市吉留)

【人数】

ロシア(ROC)7 人制女子ラグビー:26人(選手:16人、スタッフ10人)

ブルガリア柔道:8人(選手3人、スタッフ5人)



【交流について】

選手団、市民の両方の安全を守るため、今回は対面の交流はせず、ブルガリア柔道選手団はインターネットを使ったビデオ会議を利用して市内小学校の子どもたちと交流を実施。ロシア(ROC)7人制ラグビー選手団は公開練習を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する観点から、中止としました。

【ブルガリア柔道選手団と小学校児童との交流】

市内小学校6校11クラス、合計約350人の生徒と交流しました。得意技の披露や子どもたちとの質問のやりとりを通し、選手たちもリラックスして楽しんでいました。また、子どもたちもトップアスリートと接することで、様々な刺激を受けた様子でした。



【練習の様子】



R3. 8 月

●東京 2020 パラリンピック聖火の採火式・聖火ビジットを実施しました

8月12日、東京2020パラリンピック競技大会に向けた機運醸成と共生社会の推進に向けて、パラリンピック聖火リレーの「聖火フェスティバル」として、宗像大社辺津宮で「むなかたの火」採火式を実施。採火した火は、グローバルアリーナに展示(聖火ビジット)し、希望者に観覧してもらいました。また、それに併せて宗像にゆかりのあるパラリンピック日本代表選手である梶原選手、瀬戸選手への応援メッセージを記入してもらい、後日選手へ届けました。

「むなかたの火」は、県内各地で採火された火とともに集火され、「福岡県の火」として開催都市東京へ届けられ、パラリンピック聖火として一つになりました。



採火した「むなかたの火」



選手へ応援メッセージを書いてもらいました

●東京 2020 オリンピック結果報告

★宗像市ゆかりの選手

総合順位 8 位 サッカー女子・杉田妃和選手
グローバルアリーナのジュニアユースクラブ「FC グローバル」3 期生

総合順位 5 位 フェンシング女子サーブル団体・福島史帆実選手
宗像市立赤間小学校・城山中学校の卒業生
福島選手は 8 月 20 日表敬訪問に来られました



★ブルガリア柔道、ロシア(ROC)7 人制女子ラグビー選手団

柔道男子 60kg 級ブルガリア共和国代表・ヤニスラフ ゲルチェフ選手
総合 9 位(3 回戦出場)

柔道男子 81kg 級ブルガリア共和国代表・イヴァイロ イヴァノフ選手
総合 9 位(3 回戦出場)

柔道女子 57kg 級ブルガリア共和国代表・イヴェリナ イリエヴァ選手
総合 9 位(3 回戦出場)

7 人制女子ラグビーロシア(ROC)
総合 8 位



●東京 2020 パラリンピック結果報告

9 月 5 日に閉会した東京 2020 パラリンピック競技大会における宗像ゆかりの選手たちの試合結果を報告します。

★梶原 大暉 選手(バドミントン日本代表)

梶原選手は 2019 年の宗像市人権講演会で、講演とパラバドミントンの実技体験会に参加されました。

男子シングルス(車いす WH2)1 位 金メダル獲得
男子ダブルス(車いす)3 位 銅メダル獲得



★瀬戸 勇次郎 選手(柔道男子日本代表)

福岡教育大学に在学中の 4 年生です。

柔道男子 66kg 級 3 位 銅メダル獲得

瀬戸選手は 9 月 30 日表敬訪問に来られました



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 心に残るレガシー巡回展示を実施します

●概要

今年開催された、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、宗像にゆかりのある選手たちが様々な競技で活躍され、私たちに感動を与えてくれました。

この感動が子どもたちの心に残り、また、改めて子どもたちが東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を身近なものとして感じる機会となるよう、市内すべての市立学校 21 校で、「心に残るレガシー巡回展示」を実施します。

本市で実施する予定であった聖火リレーや、ホストタウンとして事前キャンプを受入れた、ブルガリアとロシアの選手団、そしてオリンピック・パラリンピック競技大会に出場した宗像ゆかりの日本代表選手たちの品々を一定期間ずつ、各学校に展示します。

●巡回展示について

・イベント名称

市立学校における東京 2020 オリンピック・パラリンピック心に残るレガシー巡回展示

・実施期間

令和3年10月1日(金)から令和4年2月末まで(予定)

・展示物

①オリンピック聖火リレートーチ、ランナーユニフォーム

②パラリンピック聖火の採火式で実際に使用したランタン

③宗像市出身・福島史帆実選手(フェンシング女子サーブル団体5位)関連
サイン色紙

④ブルガリア柔道選手団関連

サイン色紙、サイン入り柔道着、サイン入り公式ユニフォーム

⑤ロシア(ROC)7人制女子ラグビー選手団関連

サイン色紙、サイン入りラグビーボール、サイン入り公式ユニフォーム

⑥出場選手等紹介パネル

～展示品イメージ～

